# 退院支援計画書

	旦当医)		地域移	。 行機能強化病棟への転 <sup>板</sup>	東日: 平成	年	月	日
(‡.	旦当退院支援相談員)			援委員会開催日: への説明日:	平成 平成	年 年	月 月	日日
			計画の	変更日:	平成	年	月	日
1	病名							
2	患者以外の相談者	家族・その他関係者(		)				
3	退院についての 患者の意向、希望 (本人の言葉で記述)							
4	退院後の生活の目標							
5	退院支援で留意すべき 主な問題点、課題等 退院支援委員会の審議等を踏まえ、退院支援委員会の審議等を踏まえ、場では解決を図るがあると考えられる訳といる。 最大3つ)を選れました。 上で、関連等とともに、 詳細を記載すること。	【生活基盤領域】 □経済環境 【健康領域】 □服薬管理 □体力 □危機管理 【日常生活領域】 □食事の準備 【社会生活技能/社会参加	□金銭管理 □領域】 □日中の過ごし方 ) □家族の負担軽源	□病気の理解(病識) □睡眠 □就学	□身体疾患の □外出 □就労	D管理 		
6	その他退院支援で留意すべき問題点、課題等 5以外の問題点、課題 等について優先順位をつけて記載すること。							
7	退院予定時期							

8	退院支援内容(スケジュールには時期と担当者を併記すること)									
	退院意欲の喚		【目標】	ュール】						
	地域生活を 念頭 (ご置いた)	院内 プログラム	【実施内容】 □心理教育 □家族心理教育 □就労・就学支援 □個別認知行動療法 □集団認知行動療法 □デイケア等体験利用 □その他( 【今後のスケジュール】							
	プログラムや 訓練の実施に 関すること	院外 プログラム	【目標】 【実施内容】 □宿泊 □住居見学 □その他( 【今後のスケジュー	□買い物 □通所施設見学 ・ル】	□公共·金融機関利用 □余暇活動	□交通機関利用	)			
退院後の医療の確保に関すること			【必要な医療サービ	保 □身体疾患治療の □その他 (	ための通院先の確保 □訪問詞	診療 □訪問看護 )				

	【評価】	【適切な居住先の種類と必要な支援】				
	自宅 口あり 口なし					
	同居家族 口あり 口なし	【今後の支援のスケジュール】				
	その他、居住先に関する課題:					
居住先に関すること(※)						
	【外部の支援者(相談支援事業者等)の意見】					
	【評価】	【収入と金銭管理に関する必要な支援】				
	障害年金 口受給中					
	生活保護 口受給中	【今後の支援のスケジュール】				
	その他、退院後の収入と金銭管理に関する課題:					
収入と金銭管理に関すること (※)						
	<u> </u>					
	【外部の支援者(相談支援事業者等)の意見】					
1	【栄養摂取等に関する課題と必要な支援】	【今後の支援のスケジュール】				
栄養摂取・調理・火の管理に						
関すること(※)	【外部の支援者(相談支援事業者等)の意見】					
	【評価】					
	指定特定相談支援事業所 口未定( 年	月頃までに決定予定) 口不要				
	口決定(事業所名:	担当者:				
	障害者手帳 □取得済[級]	□申請予定( 年 頃まで) □不要				
	障害支援区分 □認定済[区分 ]	□申請予定( 年 頃まで) □不要				
		□申請予定( 年 頃まで) □不要 				
障害福祉サービス等の利用	【その他、障害福祉サービス等に関する課題】	【今後の支援のスケジュール】				
に関すること(※)						
		.j				
	【外部の支援者(相談支援事業者等)の意見】					

	· 大久公司集中,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年,1000年	【成年後見制度利用に関する課題と必要な支援】	【今後の支援のスケジュール】
	成年後見制度に関すること (※)	L	J
	退院後、主に相談援助に応じ	【現時点で考えられる主たる援助者】	【今後の支援のスケジュール】
る者は日本の名	る者に関すること(※)	【外部の支援者(相談支援事業者等)の意見】	÷
	ヨ中の活動に関すること(※)	【日中の活動に関する課題と必要な支援】	【今後の支援のスケジュール】
	(趣味や生きがいを考慮すること)	【外部の支援者(相談支援事業者等)の意見】	·
9	その他退院支援に関する 特記事項		

(※)指定一般相談支援事業者等、外部の支援を活用する場合には、「今後の支援のスケジュール」に外部の支援を活用するスケジュールを記載すること。

患者氏名 生年月日(明・大・昭・平・西暦) 平成•两暦 月 日(回目・ヶ月目) 狂 再発防止に対する理解と支援・指導の必要性 診断名: 発症日: (頃)・手術日: 『自己検脈』 口できる 口要指導 治療内容(術式): 『家庭血圧・体重測定』口実施している 口要支援 『自分に合った運動』 □理解している □実践している □要支援 合併症: 冠危険因子(既往):□高血圧症□脂質異常症□糖尿病□喫煙 『適切な食事・摂取量』 □理解している □実践している □要支援 □肥満 □高尿酸血症 □慢性腎臓病(CKD)□家族歴 □狭心症 □理解している □服薬忘れなし □要支援 『正しい服薬』 □陳旧性心筋梗塞 □他( □自分 □家族( ) □他人( ) 『薬の管理』 □不安がない □不安がある 『白身の病気』 『日常生活活動・復職』 口不安がない 口不安がある 標準体重 kg: 目標血圧 mmHg 現在の体重 kg: BMI (18.5~24.9)  $kg/m^2$ 『余暇・社会活動』 □理解している □実践している □要支援 現在の血圧(又は家庭血圧) mmHg 『睡眠』 □良好 □不良【入眠障害・中途覚醒・他 )】 『夕バコ』 □禁煙 □受動喫煙 □喫煙 (本)□要支援 血液検査結果 『症状出現時の対処法』口理解している 口要指導 □HbA1c(6.5% 未満) ] 🗆 ( ) 🗆 ( □LDLコレステロール(100mg/dl 未満) mg/dl ] 🗆 ( ) 🗆 ( □HDLコレステロール(40mg/dl 以上) mg/dl □中性脂肪 (TG: 150mg/dl以下) 多職種による再発予防への取り組み mg/dl  $\square$ BNP (支援・指導が必要な項目にチェックをつける) pg/ml □他( ) □『運動・日常生活動作について』 心機能: 左室駆出率(EF) 【正常・低下】 % 担当者/職種: 他所見( □呼吸訓練 □ストレッチ □筋力増強 □ADL訓練 □歩行 □自転車 □他( ADL □車椅子【自立・他人操作】 □介助歩行 □杖歩行 □屋内歩行 □屋外歩行 □他( □『栄養・食事について』 担当者/職種: **栄養**※ 栄養補給方法: □経□(□食事 □補助食品) ) **1**(kE □経管栄養 □静脈栄養(□末梢 □中心) 嚥下調整食の必要性: 口無 口有(学会分類コード: ) □『お薬について』 栄養状態:□問題なし □低栄養 □低栄養リスク 担当者/職種: □過栄養 □その他( 7 4 Y K 【「問題なし」以外に該当した場合、以下も記入】 必要栄養量: ( ) kcal, たんぱく質( ) g 総摂取栄養量#: 総摂取宋養量<sup>\*</sup>: ( ) kcal, たんぱく質 ( ) g (経ロ・経管・静脈全て含む) 担当者/職種: # 入院直後等で不明な場合は総提供栄養量でも可 ) **1**(kE ※回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定する場合は必ず記入のこと。 (右列の『栄養・食事について』の欄にも、担当管理栄養士の氏名とコメントを記入) 環境 □独居 □同居( )家族の協力体制【あり・困難】 ] □一戸建【平屋・2階以上】 担当者/職種: □集合住宅: 階居住, エレベーター【有・無】 ) 1KKE 口その他( 今後の運動療法継続について 社会復帰 □無職 □家事 □休職中 □発症後退職 □退職予定 □当院にて □自宅にて □他施設にて( ) 口転職 口転職予定 口発症後配置転換 口現職復帰 今後の検査・期間等について • 職腫/業務内容/通勤方法等 ) 本人・家族の希望・回復への目標 本人 • 家族氏名 医師: 理学療法士: 看護師: 他職種( 再発予防・健康維持のための目標 □病気への理解 □体力向上 □食事管理 □内服管理 □運動習慣の獲得 □禁煙 □他( 運動負荷試験結果(運動処方) 運動耐容能【良好・低下】(健常人の %: METs) 運動処方(脈拍・血圧): bpm mmHg 自転車 W 分 回/调 歩行 km/h 分 回/週 その他注意事項(

(別紙様式:					*****		
事業所番	号		_ リハビリ	テーション計画書	□入院 □外来 / □訪問 □通所   計画作成日: 平成  年  月  日		
<u>氏名:</u>	C		搓	性別: 男・女	□入院       □外来       □ 計問       □通所       計画作成日: 平成       年       月       日         生年月日:       年       月       日       (       歳)       □要支援       □要ク渡		
リハビリ	テージ	/ョン担当医		担当			
		たい又はできるよう	こかりたい生活の		■家族の希望(本人にしてほしい生活内容、家族が支援できること等)		
- <del> </del>	1 <del>1</del> 1 1 1	<i>7/20 - 2</i> (& C 2 4 & 7)	<u> </u>	/中主 47/	■ 赤灰の巾玉(本人につくはの0・土/口口音、赤灰が人はくこっここ子/		
■健康状態	8 42.	<b>A</b>					
原因疾病:	5、REI	<u> </u>	祭庁口		日 直近の入院日: 年 月 日 直近の退院日: 年 月 日		
	手術が	「ある場合は手術日・術」		文陽口. 牛 刀			
7日7京小王见过(	- 101 101 T	のの物口は子門口 門上	<b>4</b> 7.				
合併疾患:	コントロ	ロール状態(高血圧、心痰	<b>失患、呼吸器疾患、</b>	糖尿病等):			
これまでの	اللالالا	リテーションの実施状況	(プログラムの宝体	内突 類度 景笑).			
C102 C07	,,,,c	グランの天旭仏が	(プログラムの美池	四台、须及、里寺/			
		定等支援・管理シート:□あ	<u>り 口なし</u>	<u>日常生活自立度:J1、J2、A1、A2、</u>			
■心身機能 項		<u>しまった。</u> 現在の状況	活動への支障	将来の見込み(※)	■活動(基本動作、移動能力、認知機能等) 現在の状況 将来の見込み(※)		
筋力体		□あり □なし	口あり 口なし	□改善 □維持 □悪化	寝返り □自立 □一部介助 □全介助 □改善 □維持 □悪化		
麻卵		□あり □なし	□あり □なし	□改善□維持□悪化	起き上がり □自立 □一部介助 □全介助 □改善 □維持 □悪化		
感覚機能関節可動			□あり □なし □あり □なし	□改善□維持 □悪化	座位   □自立 □一部介助 □全介助 □改善 □維持 □悪化     ・・・・・・・   いすから □自立 □一部介助 □全介助 □改善 □維持 □悪化		
摂食嚥		□あり □なし	□あり □なし	□改善□維持□悪化	立ち上がり   はりから   口目立   口一部が切   口至が切   口改善 口維持 口悪化   床から   口自立   口一部介助   口全介助   口改善 口維持   口悪化		
失語症·樟	<b>青音障</b> 言	害 □あり □なし	口あり 口なし	□改善 □維持 □悪化	立位保持 □自立 □一部介助 □全介助 □改善 □維持 □悪化		
見当識		□あり □なし	□あり □なし	□改善□維持□悪化	□6分間歩行試験 □Timed Up & Go Test		
記憶隆	-	□あり □なし	□あり □なし	□改善□維持□悪化	TMMSE TO THE TOTAL THE TOT		
高次脳機		를 □あり □なし	□あり □なし	□改善 □維持 □悪化	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
(	)	)			服薬管理 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 □改善 □維持 □悪化		
栄養 栄養		□あり □なし □あり □なし	□あり □なし □あり □なし	□改善□維持 □悪化	コミュニケーション 口改善 口維持 口悪化		
疼症		□あり □なし	□あり □なし	□改善□維持□悪化	の状況		
精神行動		ロあり 口なし	□あり □なし	□改善 □維持 □悪化			
(BPS				た場合の見込みを記載する	■活動(ADL)(※「している」状況について記載する)     項目    自立    一部介助    全介助    将来の見込み(※)		
※「付木の	兄还の	か」に りい にはりハビッ	ノーフョンを実施し	に場口の兄込ので記載する			
■環境因于	ř( <b>%</b> :	果題ありの場合☑ 現	状と将来の見込	みについて記載する)	イスとベッド間の 15 10 ← 監視下 □改善 □維持 □悪化		
家族	課題		状況	\	移乗 座れるが移れない→5 0 □ 0 □ 0 □ 0 □ 0 世 0 □ 1 0 □ 1 0 □ 1 0 □ 1 0 □ 1 0 □ 1 0 0 □ 1 0 0 □ 1 0 0 □ 1 0 0 □ 1 0 0 □ 1 0 0 □ 1 0 0 0 □ 1 0 0 0 □ 1 0 0 0 □ 1 0 0 0 □ 1 0 0 0 □ 1 0 0 0 0		
	Ш			調整	Year   10   10   10   10   10   10   10   1		
福祉用具等		□杖 □装具 □歩行 □手すり □ベッド □		□済	入浴 5 0 0 □改善 □維持 □悪化		
				□未調整	15		
		□一戸建 □集合住宅:居住階(	Ω±6.∖	調整	車椅子操作が可能→5     0       階段昇降     10     5     0     □改善□維持□悪化		
住環境		□除日は七:店住店(		回済	更衣 10 5 0 □改善 □維持 □悪化		
工块光		│ □手すり(設置場所: │ 食卓(□座卓 □テー	ブル・いす)	)	排便コントロール   10   5   0   □改善 □維持 □悪化   10   5   0   □改善 □維持 □悪化   10   10   10   10   10   10   10   1		
		トイレ(口洋式 口和式			排尿コントロール 10 5 0 □改善 □維持 □悪化   合計点		
自宅周辺				1	※「将来の見込み」についてはリハビリテーションを実施した場合の見込みを記載する		
日七周辺					■私人会物の他に/2011年中校! マハキエの! 畑がニュルーの老上で		
社会参加					■社会参加の状況(過去実施していたものと現状について記載する)		
交通機関		□有(		)	家庭内の役割の内容		
サービス		□無			余暇活動   (内容および頻度)		
の利用					社会地域活動		
スカル					(内容および頻度)		
その他					リハビリテーション終了後に 行いたい社会参加等の取組		
	=_3	ョンの目標					
■リハビリー (長期)	<u>, 一ン</u>	コノツロ保			■リハビリテーションの方針(今後3ヶ月間)		
(短期(今後3ヶ月間)							
	■リハビリテーション実施上の留意点  「開始前・訓練中の留意事項、運動強度・負荷量等)  ■リハビリテーション終了の目安・時期						
(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	\thin thin thin thin thin thin thin thin						
					利用者・ご家族への説明: 平成 年 月 日		
<u>本人のサ</u>	ナイン	:		家族サイン:	説明者サイン:		
特記事項:							

# リハビリテーション総合実施計画書

ID	患者氏名		Ę	見・女_		
生年月日(明・大・昭・	平•西暦)	年	月	В	歳	
評価日:平成・西暦	年	月	<b>B</b> (	08 •	ヶ月目)	
	+				7,667	
<u>診断名:</u> 発症日:	 (頃) • 手	<b>織口・</b>				
	(頃)、丁	, In Child				
合併症:						
<b>冠危険因子(既往)</b> :□高血圧□慢性腎臓病(CKD)□狭/			満 口高尿酸	血症 □家族原	歴 □喫煙	
標準体重 kg: 現在	王の体重	kg: BMI(1	8.5~25.9)		$kg/m^2$	
目標血圧   /  mm	iHg 現在の[	血圧(又は家庭	至血圧)	/	mmHg	
血液検査結果						
□HbA1c		LDL-C		mg/c		
□HDL-C □他(	mg/dl $\Box$	中性脂肪		mg/c	<u>                                     </u>	
			0/			
<b>心機能</b> □左室駆出率(E □他(	F)【正常・低下 <u>】</u>		<u>%</u>		)	
□関節可動域制限(部位:		) □疼痛	(部位:		)	
口筋力低下(部位:			ンス障害(		)	
□他(					)	
<b>栄養<sup>※</sup></b>						
栄養補給方法: 口紙 (複数選択可)	経□(□食事 □補	助食品)				
	Y 全管栄養 □静脈栄	養(口末梢	□中心)			
嚥下調整食の必要性:	口無 口有(学	会分類コード	• :	)		
栄養状態:口問題なし			□過栄養	コその他(		)
【「問題なし」以外に該当			<b>\</b>			
必要栄養量: ( ) kcal, たんぱく質 ( ) g						
総摂取栄養量 <sup>#</sup> :						
※ 回復期リハビリテーション病棟入	院料 1 を算定する場合は必ず	記入のこと(担当	者一覧に管理栄養士	上の氏名も記入)		
運動負荷試験結果(運動処力	<u>5</u> )					
運動耐容能【良好•低下】	(健常人の	%:		METs)		
運動処方(脈拍・血圧):			/	mmHg		
自転車 	W Luca /la	<u>分</u>		回/週		
<u>歩行</u> 他注意事項:	km/h	分		□/週		

今後の運動療法継続について

□当院にて □自宅にて □他施設にて( ) 今後の検査・期間等について	_
説明日:平成·西暦 年 月 日 本人·家族氏名	
<u> </u>	=
<u> </u>	=
	=
参加 □無職 □家事 □休職中 □発症後退職 □退職予定 □転職 □転職予定 □配置転換 □現職復帰 ・職種/業務内容/通勤方法等() ・余暇・社会活動等 () 具体的目標とそのアプローチ:	
** ADL □車椅子【自立・他人操作】□介助歩行 □杖歩行 □屋内歩行 □屋外□階段昇降 □他( ・入浴 □入浴 □半身浴 □シャワー浴 □他( ・ コミュニケーション □問題なし □問題あり( ・他(    具体的目標とそのアプローチ:	- ·歩行
環境 □独居 □同居( )、家族の協力体制【あり・困難】 □一戸建【平屋・2階以上】 □集合住宅: 階居住、エレベーター【あり・なし】 □その他( ) [具体的目標とそのアプローチ:自宅改造/福祉機器【要・不要】 介護保険サービス【要・不要】	- ! 
<ul> <li>● 自身の病気に対する不安 □なし□あり(具体的に: )</li> <li>● 日常社会活動に対する不安 □なし□あり(具体的に: )</li> <li>● 睡眠 □良好 □不良【入眠障害・中途覚醒・他( )</li> <li>● 食欲 □良好 □減退</li> <li>具体的目標とそのアプローチ:</li> </ul>	]
第三者の不利 (発病による家族の社会生活変化や健康/心理問題の発生) □なし □あり (具体的に:   具体的目標とそのアプローチ:家族の役割/社会活動変化の必要性の有無	]
再発予防・健康維持・回復のための目標	)
再発防止に対する理解と支援・指導の必要性   『自己検脈』 ロできる ロ要指導 『家庭血圧・体重測定』 ロ実施している ロ要支援 『自分に合った運動』 ロ理解している ロ実践している ロ要支援 『適切な食事・摂取量』 ロ理解している ロ実践している ロ要支援 『正しい服薬』 ロ理解している ロ服薬忘れなし ロ要支援 『薬の管理』 ロ自分 口家族( ) 口他人(	)

『タバコ』 『症状出現時の対処法』	口禁煙 口受動喫煙 口喫煙( 口理解している 口要指導	本)口要支援
他『		) 🗆 ( )
本人・家族の希望		
		_

# 向精神薬多剤投与に係る報告書

直近3月に受診した外来患者に対して、向精神薬多剤投与を行った保険医療機関のみ提出すること。

- 11 - 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -								
保険医療機関名								
郵便番号								
住所								
標榜科		精神科		心療内	科	•	どちら	らもない
対象期間	平成	年	月	日から平	成	年	月	日の3月間
「精神科の診療に係る経験を十分に有する医師」の数 (届出時点)			の数				名	

- 1 向精神薬の投与を受けている患者数、その内訳(対象となる患者は直近3か月間に受診した外来患者)
  - ※ここでいう向精神薬とは、抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬をさす。

向精神薬の投与を受けている患者数①					
	うち、抗うつ薬又は抗精神病薬の投与を受けている患者数②				
		うち、抗うつ薬の投与を受けて	うち、抗精神病薬の投与を受け		
		いる患者数③	ている患者数④		
名	名	名	名		

- 2 向精神薬多剤投与を受けている患者数とその内訳(対象となる患者は直近3か月間に受診 した外来患者)
  - ※ここでいう向精神薬多剤投与とは、抗不安薬3種類以上、睡眠薬3種類以上、抗うつ薬3種類以上、抗精神病薬3種類以上又は抗不安薬及び睡眠薬4種類以上に該当することをさす。

向精神薬の	向精神薬の投与を受けている患者数①						
	向精神薬多剤投与を受けている患者数⑤						
	うち、抗不安しうち、睡眠薬しうち、抗うつ薬3種類以上又は抗精神				は抗精神病薬		
		薬3種類以	3種類以上	3種類以上の	種類以上の投与を受けている患者数⑧		
		上の投与を	の投与を受		うち、抗うつ	うち、抗精神	
		受けている	けている患		薬 3 種類以	病薬3種類	
		患者数⑥	者数⑦		上の投与を	以上の投与	
					受けている	を受けてい	
					患者数⑨	る患者数⑩	
名	名	名	名	名	名	名	

<b>8/2</b> =	%
--------------	---

※ **⑧**/②が 10%未満であるか、又は**⑧**が 20 名未満である場合、「IOO2」通院・在宅精神療法 (17) のアに掲げる要件を満たす。

#### [記載上の注意]

- 1. 直近3か月とは、届出を行う日の前月から起算して3か月をいう。
- 2. 患者数は、条件に該当するものを、「F100」処方料(3)(イ)から(二)への該当の有無にかかわらず全て、それぞれ実人数で計上すること。例えば、期間中に抗うつ薬及び抗精神病薬の療法の投与を受けた患者がいる場合には、③と④に重複して計上され、③と④の和が②より大きくなる。同様に、期間中に抗うつ薬3種類以上及び抗精神病薬3種類以上の投与を受けた患者がいる場合には、⑨と⑩に重複して計上され、⑨と⑩の和が⑧より大きくなる。
- 3.「1」と「2」の①にはそれぞれ同じ数字を記入すること。
- 4. 平成30年7月以降の報告において、⑤の患者数に、4種類の抗不安薬及び睡眠薬の投与を受けている患者数を含めること。

# 看護及び栄養管理等に関する情報(1)

思 2	者		
入	者 氏 名	退院(予定)日	: 年月日
	(清潔、排泄、睡眠、生活リズム等)		
生			
迁	(服薬等の状況)		
生活等	(加米分)(九)		
4			
の			
状	(家族、主な介護者等の状況)		
況			
	(看護上の問題等)		
	(看護の内容)		
看			
謹	(ケア時の具体的な方法や留意点、継続すべき看護等)	1	
看護に関する情報	(グノ時の兵体的な万伝や笛息点、極航り、さ有護寺)		
盟			
よ			
9 Z			
体の			
扣			
牧			
その			
の			
他			
			·

(照会先)

### 看護及び栄養管理等に関する情報(2)

患	者	氏 名														
入	追	ト 院 日		入院日	日: 年 月 日			退院			克(予定)日: 年 月 日					
/ \	~_	2 100 1-		/ <b>\</b>		, ,					X=17	E(1, AL) [1.	1 /1		:必須記え	1 )
_	_		1											人人作	・必須配力	(\)
	Ż	栄養管理・ 栄養指導等 の経過 *養管理上の														
		注意点と課題					-									
		評価日		年	月 日		過去(	退	間間)の体重	重変化	増力	加 ・ 変化な	- 減少:	(	kg	%)
	•	身体計測	体重	kg	測定日(	/ )	BMI		$kg/m^2$	下腿周围	囲長	cm•	不明 握力		kgf •	不明
		身体所見	食欲低了 味覚障害 浮 腫 嚥下障害	無・	有 ・ 不明 有 ・ 不明 f (胸水・腹水 無 ・ 有		褥 瘡 無・有 その他			有(嘔気・嘔吐・下痢・便秘)・ 不明有(部位等 )・ 不明						
	栄		咀嚼障害	Î	無 · 有		特記事	手坦								
	養評価	検査・ その他	過去1か月 (	以内Alb値 )g/dL	・ 測定なし そ			他								
		1日栄養量		工ネル	ギー	たんぱく質			Ħ		食 塩	水 分		その他		
		必要栄養量	(	( )kcal/標準体重kg ( )kcal/現体重kg			(	)g/標準体重kg )g/現体重kg			g	m	ıl			
栄		摂取栄養量	( )kcal/標準体重kg ( )kcal/現体重kg			( )g/標準体重kg ( )g/現体重kg g										
養		栄養補給法 食種	経口・	経腸 (経 ・ 特別食(	口・経鼻	<ul> <li>胃瘻</li> </ul>	• 腸瘻	•	静脈 )・その	食事回数	:	回/日 朝	<ul><li>・ 昼 ・ 夕</li></ul>	• そ	<u>の他(</u>	)
管		及俚	加及民	朝	米飯・軟質	新 · 仝	跳・パン	. 7		7世(		)			g/食	
理に		食事形態	主食種		米飯・軟	,,	*1*		i— (			)	量		g/食	
				夕	米飯・軟1	飯・全	粥・パン	・そ	の他(			)			g/食	
関す	退		副食	形態	常菜・軟芽	束・その	の他(					)	*)自由記	載:例	ペースト	
るは	院時		嚥下詞	凋整食 不要・必要							0j • 0t • 1	• 1j • 2-1 • 2-2 • 3 • 4			-	
情報	食		/	とろみ調整無・有			重 類 (製品名) 使用量(gまたは包)					または包)	とろみの濃度			
羊区	事		食品0		****	ļ							薄い / 中間 / 濃い			
	内	その他	也影響する問題点 無・有( 乳・乳製品・卵・小麦・そば・							-th-	#- #- *- * * * * *	1.17 丰久	1.=		)	
	容		食物アレ		無·有		扎製品 ・ 他・詳細		• 小麦	・そは	· 洛/	化生・えひ・	かに・育魚	• 大豆	•	)
		禁止食品 禁止食品 (治療、服薬、宗教上 などによる事項)		薬、宗教上												
			補	給 量	エネルギー	たん (アミ	ぱく質 シフ酸)	月	旨質	炭水( 糖質		食塩	水分		その他	
			経日	□(食事)	kcal		g		g		g	g	I	nl		
	退院時	栄養量	経	腸	kcal	+	g		g		g	g	I	nl		
		<b>水</b> 及里	靜	脈	kcal		g		g		g	g		nl		
	栄			口飲水	, ,									nl		
	時栄養設		合	<u>計</u> 体重当たり)	kcal/kg		g /lrg		g		g	g		nl nl		
	設		種	押里コたり 類	朝:		g/kg	_	昼:				夕:	111		
	定の			量	朝:			ml	昼:			ml	ク: 夕:			ml
	の詳	経腸栄養 詳細	投	与 経 路	経口 · 経	_鼻 •	胃瘻・	腸瘻	<ul><li>その</li></ul>	也(		1111				)
	細細	6干7世		与 速 度	朝:			ml/h	昼:			ml/h	夕:			ml/h
				加水分	朝:		-	ml	昼:			ml	夕:		-	ml
		静脈栄養		類・量	-1-100	L 3 4-5 19	ins.									
	/;±±:	詳細	投	与 経 路	末梢・「	ド心静	Ν									
	備考															

(記入者氏名)
(照会先)

- 【記入上の注意】 1. 必要が有る場合には、続紙に記載して添付すること。 2. 地域連携診療計画に添付すること。